



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月27日

上場会社名 株式会社バルカー 上場取引所 東  
 コード番号 7995 URL http://www.valqua.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長○○○ (氏名) 本坊 吉博  
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 遠藤 浩志郎 TEL 03-5434-7372  
 四半期報告書提出予定日 2021年1月27日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	32,748	△10.4	2,245	△33.0	2,393	△29.0	2,190	△8.5
2020年3月期第3四半期	36,561	△5.5	3,352	△23.6	3,371	△26.1	2,393	△22.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,586百万円 (9.0%) 2020年3月期第3四半期 2,373百万円 (62.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	124.25	—
2020年3月期第3四半期	136.06	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	50,535	35,892	67.9
2020年3月期	48,128	34,930	69.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 34,313百万円 2020年3月期 33,334百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2021年3月期	—	45.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,300	△8.1	3,000	△28.8	3,100	△27.2	2,700	△7.5	153.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	18,688,733株	2020年3月期	18,688,733株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,042,523株	2020年3月期	1,083,592株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	17,629,323株	2020年3月期3Q	17,591,340株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たったの注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	9
(1) 受注の状況	9
(2) 海外売上高	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、自動車関連など製造業の一部に持ち直しの動きが見られたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により全体として企業活動と個人消費は引き続き弱い状況となりました。

また、海外経済は、自動車や半導体などの生産が回復に向かう一方で、多くの国において新型コロナウイルス感染症に関し予断を許さない状況が続いたことに加え、米国と中国との通商問題への先行きに向けての懸念材料なども多く、回復に向けての動きは力強さに欠けるものとなりました。

このような事業環境下当社グループは、新型コロナウイルス感染症による企業活動への影響を最小限に抑えるための各種の対策を速やかに実施するとともに、当期から開始した3か年中期経営計画“New Frontier 2022” (NF2022) に沿って、将来の回復・成長に向けた戦略を推進しました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高が327億4千8百万円（前年同期比10.4%減）、営業利益が22億4千5百万円（同33.0%減）、経常利益が23億9千3百万円（同29.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益が21億9千万円（同8.5%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症による業績への影響は、主に以下のとおりであります。なお、これらは主に第2四半期連結累計期間までに反映され、第3四半期連結会計期間（3か月）における影響はやや薄まっております。また、受注も回復に向かい、当第3四半期連結会計期間（3か月）における受注高は110億9千2百万円（前年同期比2.4%増）となり、当第3四半期連結会計期間末時点の受注残高も前年同期末を上回っております。

- ・個人消費の悪化やインフラ投資規模の縮小による機器市場向け販売の減少（主に自動車・産業機械関連）
- ・設備投資意欲の減退を反映した先端産業市場・プラント市場向け一部案件の先送りによる販売の減少
- ・各国内・各国間の移動制限等からの労働力不足を反映したプラント市場の縮小による販売の減少（特に海外）
- ・需要減少と現地政府の休業指示等による海外販売・生産拠点の稼働低下による販売の減少と収益性の悪化

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

第1四半期連結会計期間より、セグメント内における個別事業の占める比率を勘案し、従来の「その他事業」から「シリコンウエハーリサイクル事業他」に名称を変更しております。なお、過年度業績も含めセグメント情報に与える影響はありません。

#### ① シール製品事業

シール製品事業は、機器市場や海外のプラント市場向けの販売が減少し、売上高は231億2千5百万円（前年同期比4.1%減）にとどまったものの、先端産業市場向けの販売が堅調に推移し、セグメント利益は29億4千万円（同15.0%増）となりました。

#### ② 機能樹脂製品事業

機能樹脂製品事業は、主要市場からの需要が減少したことに加え、一部顧客への製品の納入時期が延期されたことや大型案件の見直し等により、売上高は76億7千8百万円（前年同期比23.7%減）、セグメント損失は6億3千万円（前年同期はセグメント利益5億2千万円）となりました。

#### ③ シリコンウエハーリサイクル事業他

シリコンウエハーリサイクル事業他につきましては、主力事業の受託量が減少したこと等により、売上高は19億4千5百万円（前年同期比18.9%減）、セグメント損失は6千4百万円（前年同期はセグメント利益2億7千6百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は505億3千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億6百万円増加いたしました。流動資産は281億4千6百万円となり、13億3千4百万円増加いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加5億6千万円、現金及び預金の増加2億2千7百万円、仕掛品の増加1億8千4百万円、電子記録債権の増加1億8千1百万円、商品及び製品の増加1億7千5百万円等であります。固定資産は223億8千9百万円となり、10億7千2百万円増加いたしました。主な要因は、有形固定資産のその他（純額）の増加10億4千1百万円、無形固定資産のその他に含まれるソフトウェアの増加3億8千万円、建物及び構築物（純額）の減少4億2千3百万円等であります。

負債は、146億4千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億4千5百万円増加いたしました。流動負債は105億8千3百万円となり、6千6百万円増加いたしました。主な要因は、流動負債のその他の増加2億7千6百万円、短期借入金の増加1億7千7百万円、支払手形及び買掛金の減少2億9百万円、賞与引当金の減少1億9千3百万円等であります。固定負債は40億5千9百万円となり、13億7千9百万円増加いたしました。主な要因は、長期借入金の増加8億9千3百万円、固定負債のその他に含まれる繰延税金負債の増加3億3千7百万円等であります。

純資産は358億9千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億6千1百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加5億9百万円、その他有価証券評価差額金の増加4億8千6百万円等であります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の69.3%から67.9%となり、1.4ポイント減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期末に向けては、新型コロナウイルス感染症を巡る状況、米中関係の動向、米国の政権移管に伴う混乱、各国株式市場の水準等が、世界各国の経済回復に向けた動きに影響を与え得る不透明要素として存在しております。

このような事業環境が想定されるなか当社グループは、業績の回復に向けた施策を迅速に実行するとともに、中期経営計画“NF2022”のもと将来の価値創造に向け果敢にチャレンジをしております。

以上を踏まえまして、当連結会計年度における売上高は443億円（前期比8.1%減）、営業利益は30億円（同28.8%減）、経常利益は31億円（同27.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は27億円（同7.5%減）を予想しております。

なお、この予想には、新型コロナウイルス感染症の大規模な再拡大や米中通商問題の急激な悪化等、当社業績に大きな影響を与え得る不測の事態の発生は織り込んでおりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,644	6,872
受取手形及び売掛金	11,357	11,917
電子記録債権	1,885	2,066
商品及び製品	3,000	3,175
仕掛品	646	830
原材料及び貯蔵品	1,369	1,304
その他	1,922	1,994
貸倒引当金	△14	△15
流動資産合計	26,811	28,146
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,278	5,855
土地	4,005	4,002
その他(純額)	5,582	6,624
有形固定資産合計	15,866	16,482
無形固定資産		
その他	906	1,265
無形固定資産合計	906	1,265
投資その他の資産		
投資有価証券	2,982	3,152
その他	1,561	1,493
貸倒引当金	△0	△3
投資その他の資産合計	4,544	4,641
固定資産合計	21,317	22,389
資産合計	48,128	50,535

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,190	4,981
短期借入金	1,782	1,959
1年内返済予定の長期借入金	130	111
未払法人税等	362	389
賞与引当金	430	237
役員賞与引当金	38	45
その他	2,581	2,858
流動負債合計	10,517	10,583
固定負債		
長期借入金	1,158	2,052
退職給付に係る負債	534	459
その他	987	1,547
固定負債合計	2,680	4,059
負債合計	13,197	14,643
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,957	13,957
資本剰余金	3,963	3,979
利益剰余金	16,558	17,068
自己株式	△1,635	△1,573
株主資本合計	32,843	33,432
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,054	1,540
為替換算調整勘定	△131	△358
退職給付に係る調整累計額	△432	△300
その他の包括利益累計額合計	490	881
非支配株主持分	1,596	1,578
純資産合計	34,930	35,892
負債純資産合計	48,128	50,535

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	36,561	32,748
売上原価	22,782	19,947
売上総利益	13,778	12,800
販売費及び一般管理費	10,426	10,555
営業利益	3,352	2,245
営業外収益		
受取利息	4	2
受取配当金	51	43
設備賃貸料	170	284
持分法による投資利益	8	6
その他	82	138
営業外収益合計	319	475
営業外費用		
支払利息	55	51
設備賃貸費用	144	237
為替差損	52	9
その他	48	29
営業外費用合計	300	328
経常利益	3,371	2,393
特別利益		
投資有価証券売却益	103	916
その他	5	2
特別利益合計	108	919
特別損失		
固定資産廃棄損	17	11
減損損失	—	49
投資有価証券売却損	—	46
石綿疾病補償金	—	34
その他	4	0
特別損失合計	21	141
税金等調整前四半期純利益	3,457	3,170
法人税、住民税及び事業税	777	824
法人税等調整額	212	146
法人税等合計	989	970
四半期純利益	2,468	2,199
非支配株主に帰属する四半期純利益	74	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,393	2,190



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,468	2,199
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	331	487
為替換算調整勘定	△486	△232
退職給付に係る調整額	67	132
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	△1
その他の包括利益合計	△94	386
四半期包括利益	2,373	2,586
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,335	2,580
非支配株主に係る四半期包括利益	37	5

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

- I. 前第3四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至2019年12月31日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	シール 製品事業	機能樹脂 製品事業	シリコン ウエハーリサ イクル事業他			
売上高						
外部顧客への売上高	24,105	10,058	2,397	36,561	—	36,561
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	24,105	10,058	2,397	36,561	—	36,561
セグメント利益	2,555	520	276	3,352	—	3,352

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と同額となっております。

- II. 当第3四半期連結累計期間（自2020年4月1日 至2020年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	シール 製品事業	機能樹脂 製品事業	シリコン ウエハーリサ イクル事業他			
売上高						
外部顧客への売上高	23,125	7,678	1,945	32,748	—	32,748
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	23,125	7,678	1,945	32,748	—	32,748
セグメント利益又は損失 (△)	2,940	△630	△64	2,245	—	2,245

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と同額となっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

シール製品事業セグメントにおいて営業所の閉鎖に伴い除却予定となった固定資産について、当第3四半期連結会計期間において、帳簿価額を回収可能価額まで2百万円減損処理しております。なお、当該減損損失金額を含む当第3四半期連結累計期間までに計上した減損損失金額49百万円は特別損失として計上されており、セグメント別の内訳はシール製品事業が38百万円、機能樹脂製品事業が10百万円となります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの一部名称の変更)

第1四半期連結会計期間より、セグメント内における個別事業の占める比率を勘案し、従来の「その他事業」から「シリコンウエハーリサイクル事業他」に名称を変更しております。なお、過年度業績も含めセグメント情報に与える影響はありません。

3. 補足情報

(1) 受注の状況

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高			受注残高		
	前第3四半期 連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	増減率(%)	前第3四半期 連結会計期間末 (2019年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間末 (2020年12月31日)	増減率(%)
シール製品事業	23,144	22,932	△0.9	3,270	3,390	3.7
機能樹脂製品事業	9,410	7,432	△21.0	2,953	2,990	1.3
シリコンウエハーリサイクル事業 業他	2,358	1,958	△16.9	244	239	△2.3
合計	34,913	32,324	△7.4	6,469	6,620	2.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 海外売上高

前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	7,465	3,187	104	10,758
II 連結売上高(百万円)				36,561
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	20.4	8.7	0.3	29.4

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度により区分しております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は、次のとおりであります。

(1) アジア . . . . . 中国・台湾・タイ・シンガポール・韓国・ベトナム

(2) 北米 . . . . . アメリカ合衆国

(3) その他の地域 . . . . . ヨーロッパ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本国以外の国又は地域に対する売上高であります。

当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	6,592	3,524	120	10,236
II 連結売上高(百万円)				32,748
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	20.1	10.8	0.4	31.3

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度により区分しております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は、次のとおりであります。

(1) アジア . . . . . 中国・台湾・タイ・シンガポール・韓国・ベトナム

(2) 北米 . . . . . アメリカ合衆国

(3) その他の地域 . . . . . ヨーロッパ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本国以外の国又は地域に対する売上高であります。